



# あおもり

## 第41号

# 社会福祉士会だより

\*「海の日」は「ソーシャルワーカーデー」\*

### 特集

## = 生涯研修制度 =

青森県社会福祉士会 会員の皆様へ

### (1) 新・生涯研修制度について

2012年4月1日より新・生涯研修制度が開始されます。

所定の手続きをとらない場合、新基礎研修の対象となり、3年間にわたり200時間の講義・演習、フィールドワーク、レポートを修了しなければ、「分野専門」の研修を履修することができなくなります。

### (2) 現時点で基礎研修を修了されていない方々へ

2012年3月に青森県社会福祉士会主催で基礎研修を2回開催いたします。ぜひご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

※修了しただけでは(1)の対象となります。

(3)の手続きをおねがいします。

### (3) 基礎研修を修了されて、共通研修課程修了申請をされていない方々へ

今年度は各支部で基礎研修を開催いたしました。基礎研修を修了された会員も多くいるかと思えます。ただし、修了しただけではダメで、2012年4月～6月の間に、日本社会福祉士会に「共通研修課程修了申請手続き」をしなければ、(1)の対象となります

詳しくは社会福祉士生涯研修手帳、あるいは日本社会福祉士会ホームページ「生涯研修制度 共通研修課程修了申請手続きのご案内」

(<http://www.jacsw.or.jp/ShogaiCenter/toplinks/kyotsusinsei.html>)をご参照ください。

※ 2012年3月に共通研修課程修了申請の手続きに関するワークショップも開催予定です。

基礎研修を修了しても、共通研修課程修了の申請手続きをしなければ、3年間にわたって200時間の新基礎研修を受ける対象となります。基礎研修そのものも十分意味あるものですが、分野専門の研修、各フィールドで必要とされる専門性の高い研修を受けたほうが、利用者や家族、組織、地域、社会に貢献できると思いますので、どうか共通研修課程修了の申請手続きをお願いいたします。

【研修委員会委員長：石田 賢哉（東青支部）】



# 研修報告

## 権利擁護セミナーⅡ

「未成年後見制度の研修を受けて」

小笠原 麻衣子（上十三支部）

今回のテーマとなっている未成年後見制度ですが、まだまだ周知されているとは言い難い状況と研修の初めにお話がありましたが、恥ずかしながら私自身も制度や成年後見制度との違いについてよく理解していませんでした。研修では、それぞれの講師の先生方から制度の概要や現状、事例を通じた実務の様子についてお話を伺うことができました。その中で、成年後見制度との違いやそれぞれの難しさについて、研修を受ける前よりも理解を深めることができましたと思います。それぞれの難しさはあると思いますが、講師の方のお話にもあったとおり、未成年後見制度の場合、将来のことも踏まえながらご本人の判断能力を育てたりと、支援によって今後の本人の能力や生活に与える影響は大きく、加減の難しさや責任の重さを感じました。

これまであまり未成年後見制度について触れてきませんでしたが、今回の研修をきっかけに、今後制度の周知や活動への協力等していけるよう、さらに理解を深めていきたいと思っています。



## 権利擁護セミナーⅢ

「障害者虐待防止法と施設内虐待の防止について」

障害者虐待防止法が今年の6月に成立し、来年（平成24年）10月1日から施行されることが決まりました。講師に阪田健嗣氏（島根県西部医療福祉センター）をお招きし、虐待防止法の成立から施設内虐待の防止について、これまでの取組などご自身の体験を交えてお話ししていただきました。

虐待防止のに向けた体制整備や虐待防止・対応のための委員会の設置などの対応も必要であるが、支援者として、「虐待」＝「権利侵害」となること、利用者の生活・権利を護る専門職と意識することが必要であり、決して「一人で抱え込まないこと！」「いけないと考える『人』と対応する『システム』を作ることが必要である」と強く話されていたのが印象的でした。

【報告：広報委員会】

## 第18回日本介護福祉士会 全国大会報告

去る11月10日～11日、青森市のホテル青森にて上記大会が開催されました。介護福祉士の会員さん以外にも、県内の介護福祉士養成校の学生さん等も沢山参加され、閉会式典まで熱気溢れる大会となりました。日本一熱い祭りである「ねぶた」の国らしい、明日への力を生み出す素晴らしい内容であったと思います。

一番印象に残っているのは、「はやぶさ」川口淳一郎氏のご講演です。スタッフ業務のため会場内外を出入りしており全部は聴けなかったのですが、ご講演の最後の話されていた「はやぶさ」を地球に帰還させる件では涙が出ました。決して諦めない事がスペシャリストとして、一人の人間として、生きる姿勢を支える土台になるのだと改めて思いました。

桃源

有限会社 協栄会

認知症対応型共同生活介護事業所 桃源

通所介護事業所

〒030-0911

青森県青森市造道3丁目21-21

電話 017-765-6175

FAX 017-765-6176

URL <http://www2.actv.ne.jp/~touggen1/>

在宅介護支援センター 居宅介護支援 訪問介護 通所リハ 施設入所 短期入所

笑顔でリハビリ・笑顔がリハビリ

社会福祉法人 みやぎ会

介護老人保健施設 **とわだ**

十和田市大字洞内字長田60-6 電話 0176-27-3131 FAX 0176-27-3139  
E-mail/jimu-towada@sg-miyagikai.or.jp

訪問介護（ホームヘルパー） 電話 0176-27-3170  
有料老人ホームけやき荘 電話 0176-27-3151  
居宅介護支援事業所 電話 0176-27-3158  
在宅介護支援センター 老健とわだ 電話 0176-27-3130

大会を成功させた青森県介護福祉士会の皆さまの努力と熱意にもとても感動しました。わいはシンポジウム担当でしたので、不測の事態に迅速に対応できるよう当日気合いを入れれば良かったのですが、商業展示、分科会等の事前の準備は大変だったであろうことは容易に想像できます。来年、同じく青森市で全国大会を開催する青森県介護支援専門員協会の事務局の方々もご来場されていました。本大会の成功は、介護支援専門員の全国大会の成功にもつながるのではないのでしょうか。その意味では、介護福祉士だけではなく、青森県の福祉職にとっても有意義な大会であったと思います。

青森県介護福祉士の風晴賢治会長も、安井真木子事務局長も社会福祉士です。スタッフとして三上理事もいらっしゃいました。もっとも沢山の社会福祉士さんがお手伝いしていたのだと思います。下北支部の益城妃富さんは2日目の分科会座長、シンポジウムのシンポジストとしてご参加されていました。複数の資格を持って仕事をしている福祉職は少なくありません。それは一人ひとりの高い職業倫理の表れであり、それによって相互理解に根ざした連携の促進、よりよい福祉の創造へとつながっていくのではないのでしょうか。

2013年度、日本社会福祉士の全国大会がお隣の岩手県で開催されます。宮城、秋田に続き3県目の開催だそうです。青森県社会福祉士会が全国大会を開催するのはいつになるのでしょうか・・・。なんとなく、わくわくするような、待ち遠しいような気持ちになっています。未筆ですが、来年度の日本介護福祉士会山梨大会の成功を祈りつつ報告を終わります。

【報告：納谷むつみ（広報委員会）】

## ありがとう！

会員からの募金は派遣の交通費として  
使わせていただきました  
～被災地支援者チームより～

### 報告

3月11日、東日本大震災により岩手県・宮城県・福島県は甚大な被害に遭いました。被災地にてその被害を目の当たりにし「こんなことってあるのか・・・」と流れる涙を止めることができませんでした。自らも被災者でありながら、支援者として地域のため人々のためにその任務を遂行する仲間を支援しようと、我々社会福祉士会も被災地に行きました。4月より全国

の会員が一日も休まず支援のバトンを繋いできました。青森県社会福祉士会会員も石巻市、大槌町、山田町を支援してきました。

石巻市・大槌町においては11月をもって支援活動を終了いたしました。仮設住宅を訪問し高齢者の安否確認を続けてきました。「訪ねて来てくれて、声をかけてくれてありがとう。その言葉に元気づけられた、もう来てくれないと思うと寂しい」と訪問の最後に声をかけていただいて、我々の活動がちゃんと被災地に届いたんだなとうれしく思う反面、後ろ髪を引かれる思いを感じました。

これを終了とするのではなく、第1ステージが終了したのだと、今後も繋がって行きたいと強く思っています。活動に参加して下さった会員、エールを送って下さった会員、会員皆様ありがとうございました。皆様が寄せて下さった募金、総額33万円は被災地に向かう会員の交通費として使わせていただきました。

**被災地支援活動にご理解とご協力  
誠にありがとうございました。**

### 募集！

岩手県山田町への支援活動は平成24年3月31日まで続きます。1月から活動して下さる会員を急募しています。

高齢者の基本台帳作成を急いでいます。活動できる会員は是非登録してくださいませようお願いいたします。

※添付しました支援者登録フォームに必要事項を記載し県事務局へFAX送信していただきますようお願いいたします。

FAX番号：017-731-2007

【宮古道子（理事・上十三支部）】

### 被災地支援報告

10月9日から10月14日までの6日間、被災地支援の為、岩手県大槌町へ行って参りました。震災から7ヶ月…現地に到着して目の当たりにしたのは瓦礫が撤去された後の街でした。現地の方が「何もなくなっちゃった」とおっしゃっていたことが印象的で、目の前の光景に想像を絶する被害状況だったことを改めて思い知らされ、胸が締め付けられる思いでした。

支援内容は仮設住宅の訪問と聞いていましたが、10月から在宅高齢者の台帳作成を行っているとのことで、私は吉里吉里地区の高齢者宅の訪問をさせていただきました。どの方も突然の訪問にも関わらず温かく迎えて下さり、震災

時の話や今の生活状況について話して下さいました。私がお聞きしたことはほんの一部ですが、被災された皆様は震災後、言葉では表現しきれないような感情を抱きつつ、人との関わりを通じてそれぞれ得たものがあるのだろうと感じる瞬間が数多くありました。

大槌のまちが完全に再生するにはまだまだ年月を要するとは思いますが、私が出逢った方々、

地域全体に「大槌パワー」が沸々と漲っている様な印象を受けました。社士会の支援は11月末終了予定ですが、これからは私たちそれぞれができることを考え、継続して行動していくことが必要だと思います。短い日程でしたが、貴重な経験の機会を与えていただいたことに感謝しています。ありがとうございました。

【報告：川村文絵(上十三支部・広報委員会)】



## \* 委員会だより \*

【広報委員会からお知らせです！】

日ごろから広報委員会の活動にご協力いただきありがとうございます。

これからも会員のみなさんへの情報発信を続けていきますが、会員数が年々増え、広報の発送作業と経費がかかることから、今年の春から見直しをしてみました。

そこで、今後広報をメールでご案内する方向でただいま準備を進めています。現在所属している各支部に登録しているアドレスを活用させていただき、支部からメールが届く方法となります。メールの環境をお持ちでない会員の方には、これまで通り郵送でお届けし、情報のお届けに漏れのないようにしていきたいと考えています。今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。

また、9月末にホームページをリニューアルしました。新しい情報を随時掲載していきますので、こちらもお覧下さい。会員専用ページはただいま準備を進めております。もうしばらくお待ちください。

【委員長：佐藤尚代】

## 編集後記

今年一年を振り返ると、心の痛む出来事がたくさんありました。支援者としても考えさせられる一年だったと思います。

来年はさらに「絆」を深め、笑顔につなげていきたいですね。（さと）



## 事務局の年末年始について

県民福祉プラザの休館日に伴い、事務局も休みとなります。建物にも入ることができませんので、ご注意ください。

- 平成23年 12月29日(木)  
12月30日(金)  
12月31日(土)
- 平成24年 1月1日(日)  
1月2日(月)  
1月3日(火)

また、県民福祉プラザが平成24年1月4日(水)～3月31日(土)まで、冷暖房設備等改修工事のため休館となります。事務局は平常通りです。

【事務局】

## 会員数情報

10月31日現在

会員数 470名  
入会率 39.46% (全国3位)

## あおもり社会福祉士会だより

発行日：2011年 12月 1日

発行人：奈良秀夫

編集：広報委員会

## 社団法人青森県社会福祉士会

〒030-0822

青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ内

TEL：017-723-2560

FAX：017-752-6877

HP：<http://homepage2.nifty.com/aacsw/>

E-mail：[aacsw@nifty.com](mailto:aacsw@nifty.com)